

LIBRARY NEWS

令和6年8月30日 No.5

新座市立第三中学校

校長 石田 和男

(図書室だより) 図書整理員 名本 浩子

猛暑にあえぎ、高校野球やパリオリンピック観戦で興奮し、ゲリラ雷雨や台風情報から目が離せない、そんな夏が過ぎていきました。台風の接近が心配されるなかで2学期が始まりましたが、三中の図書室は、2学期も変わらず、心が落ち着く居場所として、みなさんの来室をお待ちしています。今学期もたくさん本のお話をしましょう。

さて、来たる9月21日は、「国際平和デー」です。この日は、国連がすべての国、すべての人々にとって、共通の理想である国際平和を記念、推進していく日として、国連が定めた平和の記念日です。このほかにも、1月1日の「世界平和の日」や、11月11日の「世界平和記念日」といった、平和に関する記念日があります。

今年、2024年の夏で、終戦から79年目を迎えました。日々のニュースで報道され、みなさんがよく知っているロシアとウクライナの紛争のほかにも、世界では今も、多くの地域で紛争が起きていて、人々の命が失われています。現在、紛争がなく、平和な国でも、3年生の国語の教科書に載っている、石垣りんの「挨拶 原爆の写真によせて一」の詩が伝えているように、平和な世界が崩れ、原爆投下の悲劇がふたたび起きる恐怖がすぐ近くにあるのかもしれません。

戦争や平和について知ることは、平和の維持への願いにつながり、平和な世界のために、わたしたちができる一歩だと思います。三中の図書室にも、「はだしのゲン」や「火垂るの墓」をはじめ、戦争や平和についての資料がたくさんあるので、この機会にいろいろ読んでみてください。

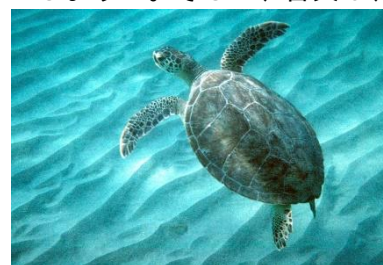
そこで、今月は、野坂昭如の「ウミガメと少年 野坂昭如 戦争童話集 沖縄篇」からの出題です。

話は、戦火の中、お母さんのアオウミガメが卵を産むところから始まります。哲夫は、お爺さんとお婆さんと一緒に、あてもなく逃げていましたが、食べ物を探しに出かけたお爺さんは帰ってこないし、そのお爺さんを心配して探しにでたお婆さんも戻ってきません。哲夫は、お爺さんもお婆さんも、もう迎えには来てくれないとだけわかっていました。

お爺さんが肌身離さず持っていた袋に入っていた乾パンや金平糖もなくなり、少年は日に日に弱っていきます。ある日、少年は、ウミガメの産卵をずっとながめていました。地上を動く何かを眼にしたのは久しぶりです。そして、哲夫は、砲撃が続くなか、身をひそめていた窪地を飛び出し、お母さんが埋めた卵の場所へ走っていくのです。哲夫は、危険をかえりみず、なんのために卵の場所に行ったのでしょうか。そして、哲夫は、ウミガメの卵はどうなったのでしょうか。

ここで問題です。乾パンや金平糖がなくなった少年、哲夫が、飢えをしのぐために、食べたものは何だったでしょう。

- ① ひからびたパイナップル
- ② 浜に流れ着いた海ぶどう
- ③ 掘り残された芋



今号の問題の答えの本は、分類番号913、**新着本**のコーナーにあります。妹尾河童の「少年H」や、1年生の国語の教科書にも載っている、米倉齊加年の「おとなになれなかった 弟たちに……」も、特設の教科書関連コーナーにあります。ぜひ、読んでみてください。

前号のクイズで、恩田 陸の小説『蜜蜂と遠雷』で、開催された音楽コンクールは、① ピアノのコンクールでした。『蜜蜂と遠雷』のほかにも、昨年の本屋大賞の第2位になった、安壇 美緒/著『ラブカは静かに弓を持つ』や、小説を楽曲にした『YOASOB 小説集 夜に駆ける』など、音楽や楽器を題材にした小説や資料がいろいろあります。芸術の秋。お気に入りの音楽を聴きながら、音楽関連の本を楽しんでみてはいかがでしょうか。

新着図書のご案内

「食欲の秋」、「スポーツの秋」、「芸術の秋」。いろいろな秋を楽しむ季節。読書で「実りの秋」を満喫しよう！

『ぎんなみ商店街の事件簿』

Brother 編/Sister 編』

井上 真偽/著 (小学館)



“一つの事件に二つの真実”
ぎんなみ商店街で起きた三つの事件。探偵役は、四兄弟と三姉妹。コナンの名台詞とは異なり、ひとつの事件に真実がふたつ？ちりばめられた点と点がつながっているのに気づく。
〈Brother 編〉と〈Sister 編〉2冊の“並行読み”がおすすめです。まったく新しい読書体験をお楽しみください。

『いとエモし。』

koto/著 (サンクチュアリ出版)



美しいイラストとコラボした古典の世界



『やなせたかし特集』

来春、今も子どもの人気を集め続けている「アンパンマン」の作者、やなせたかしが朝ドラの主人公のモデルに決定

『アンパンマンの遺書』

(岩波書店)

やなせたかしが自身の風変わりな人生を語った手記。

♪そうだ
うれしいんだ
生きるよろこび♪

アンパンマンが生まれた背景など、筆者の生き方、人柄がうかがえるエッセイ

『ボクと、正義と、アンパンマン
なんのために生まれて、なにをして生きるのか』

『新装版』

やなせたかし 詩とメルヘンの世界
あれはだれの歌』

あれはだれの歌



(瑞雲舎)

名曲「てのひらを太陽に」収録。詩やイラストなど、珠玉の作品を詰め込んだ作品集。

映像化された



原作小説(文庫版)

『小説 夜のクラゲは泳げない 1』

屋久ユウキ/著 原作/JELEE

(ガガガ文庫)



プカプカと漂っては何者にもなれない少女は、ひとつの特別な出会いをきっかけに変わり始める。自分じゃない“私たち”なら一輝けるかもしれない。テレビアニメのノベライズ、第一弾！

ほかにも、柚月裕子の『朽ちないサクラ』や辻村深月の『傲慢と善良』、東野圭吾の『ゲームの名は誘拐』などの、映画やドラマ化された小説をそろえました。

『クラスメイトの女子、全員好きでした』

爪 切り男/著

(集英社文庫)



フランスからやってきた金髪の転校生。ワックスの海を滑る学級委員長。クラスの女子、全員すてきで好きだった。おもしろくて、ちょっぴり切ない恋の記憶。
小学校編、中学・高校編、全21編のスクール・エッセイ。

7月から
テレビ
ドラマ化

新感覚のゲームブック！



『チョコかバニラか』

ジェイソン・シガ/著

それぞれのコマが線でつながっていて、何ページもとばしたり、もどったりして物語が続きます。選択をまちがえると、“おしまい”。ひとつひとつの選択が、新たな物語を生み出す独創的な絵本です。

(アリス館)